

(海外・国内) 出張報告書 (学生用)

2014年 7月 15日提出

| | |
|------|----------------------------------|
| 氏名 | 丸山 隼輝 |
| 所属 | 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門 |
| 学年 | 博士課程 3年 |
| 出張先 | 熊本大学 |
| 出張期間 | 6月 20日～22日 (学生会議の開催は 21日および 22日) |
| 目的 | 第 2 回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議に参加 |

熊本大学で開催された第 2 回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議に本学博士課程学生 1 年池田 哲平、石井 千尋、平野 港および同 2 年黒田 弥乃梨と共に参加した。本会議は昨年、兵庫県立大が発起人となりリーディングプログラム採択大学間の学生の交流、各大学のプログラム紹介および博士課程教育改革についての議論および提言を博士学生主体で行うことを目的に開催されたもので、今回は九州地方においてリーディングプログラムが採択されている熊本大学、九州大学および長崎大学の連合で開催された。私は去年に引き続き 2 回目の参加となった。



写真 1. 集合写真

参加者は 100 人を超える

会場は熊本大学薬学部宮本記念館でランチョンセミナー、ワールドカフェ、パネルディスカッション公開講演および全体討論会を 2 日間に渡って行った。ランチョンセミナーではゼンカイミート株式会社代表取締役・萩原 新一氏、パネルディスカッションおよび公開講演では米国特許商標局特許審査官・Devang Thakor 氏、大阪大学総務企画部経営企画課長・喜久里 要氏、シンクタンク・ソフィアバンク代表・藤沢 久美氏および公開講演の武雄市長・樋渡 啓祐氏の講演を聴くことが出来た。またワールドカフェでは博士課程教育の問題と博士人材の活用について少数のグループでのディスカッションを時間ごとにグループを変えて繰り返し、最終日に全体討論のまとめとして班ごとに博士課程教育に対する提言を行った。参加者の中には外国からの留学生も多く、学生間での発表および意思疎通は全て英語で行った。

日本語での講演に対しては同時通訳が用いられていた。

今回の第2回学生会議は熊本大学の HIGO プログラムの影響もあり、ビジネス面に対する議題が多かった。内容は博士号を取得したのちに大学や研究機関に就職するだけでなく、博士課程教育で培った問題解決能力を活かすための起業等ビジネス面での博士号取得の意義を議論するものであった。またリーダーを輩出するために各大学が行っているプログラムの詳細についても聴くことが出来た。ワールドカフェでは他大学の学生の博士課程に対する認識や博士課程に進学した動機等を聴くことが出来、非常に有意義な時間となった。



写真 2. ワールドカフェの様子
英語で積極的な議論を交わした

最終日の全体討論のまとめで、私は班を代表して発表を行った。テーマは「博士人材の価値を認識してもらうための提言」であったが、私達の班は博士課程に進学した学生全てが十分な能力を有しているわけではないという考えに至り、社会に本当に必要とされる人材になれるよう各々が必要とされている能力を見極め、さらなる努力を重ね自らを向上させるべきであるという旨の発表を行った。



写真 3. 全体討論での発表の様子
英語での発表では本学プログラムでの経験が生きた

第2回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議に参加したことで北海道大学獣医学研究科のリーディングプログラムの特色を再認識した。我々のプログラムはビジネス界よりは国際機関で活躍できる人材の育成を目指すものであり、その理念を実現するため、我々のプログラムは他のプログラムとの差別化を図り、さらに独自の良さを押し出していくべきだと強く感じた。現在まで続けているリーディング・セミナーやリーディング・プログレス等の学生主体での活動を更に活発化させていく必要性を他の学生共有し、外部から評価されるものにしなければならない。余談ではあるが第3回の学生会議は北海道大学理学部のプログラムと共に獣医学研究科も開催に関わる予定である。最後に、これからの北海道大学獣医学科博士課程リーディングプログラム“One Health に貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム”をより良い物にするために今回の出張はとても有意義なものであり、共に参加した学生諸君参加、するにあたり協力を頂いたリーディングプログラムプログラム担当および教員の方々に感謝したい。

| | | |
|---------|---|---|
| 指導教員確認欄 | 所属・職・氏名： 人獣共通感染症リサーチセンター国際疫学部門・教授 高田 礼人 | 印 |
|---------|---|---|

※1 電子媒体を e-mail で国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出するとともに、指導教員が押印した原本を国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出して下さい。

提出先：国際連携推進室・リーディング大学院担当

内線：9545 e-mail: leading@vetmed.hokudai.ac.jp